

教科名 国語	学年 3年	担当者 鎌田 優里	使用教材 光村図書『国語3』、「中学書写一二三年」 (光村図書) 副教材 漢字ノート、国語便覧 など
-----------	----------	--------------	---

教科の目指す生徒像

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現しようとする生徒。

学習到達目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言語がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

主な学習内容

教科書を中心に様々な作品を通じて、国語における「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」の育成を図る。

授業の進め方

授業では、学習の目標を確認し、その目標が達成できるようにする。提示された課題に取り組み、思考力・判断力・表現力を育む。その取り組みの成果を仲間と共有し、授業担当者がアドバイスや評価をする。これにより自分の学習を振り返り、理解や知識を定着させ、次の学習へと繋げるものとする。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言語がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
定期テスト、漢字テスト、文法テスト、作文、発表活動、ノート・プリントの記述、発表の内容、など。		

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上    A 80%以上    B 50%以上    C° 25%以上    C 25%未満

評定への総括：神奈川県のやり方に従う

教材について

- ・教科書、国語便覧、漢字ノート、積み上げプリント等使用します。

学習上の留意点

- ・授業を受けるにあたって必要なものを忘れずに、時間を守って取り組むこと。
- ・小テストや発表などの実施日やノート、プリント提出日をよく確認し、計画的に学習や準備を進めるようにすること。提出期日は守ること。
- ・授業を欠席した際は、欠席した分の内容を必ず自分で補うようにすること。授業担当者や友達に相談すること。
- ・学習内容に関して分からないこと、学習方法の相談などは適宜、授業担当者に相談すること。
- ・「ビブリオバトル」の活動にあたって、前期中に紹介できる本を読んでおくこと。

年間計画 2024（令和6）年度 第3学年 教科：国語

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4 5 6	深まる学びへ 視野を広げて 情報社会を生きる	世界はうつくしいと／握手／学びて時に之を習ふ／文章の種類を選んで書こう／ 作られた「物語」を超えて／説得力のある構成を考えよう／評価しながら聞く／ 実用的な文章を読もう／報道文を比較して読もう
	7 8 9 10	言葉とともに 読書生活を豊かに 状況の中で 自らの考えを	俳句の可能性／俳句を味わう／ 読書を楽しむ／ 挨拶／故郷／ 聞き上手になろう／人工知能との未来／人間と人工知能の創造性／多角的に分析して書こう／ 合意形成に向けて話し合おう／初恋
後期	10 11 12	いにしえの心を受け継ぐ 価値を生み出す 読書に親しむ	和歌の世界／君待つと／夏草／誰かの代わりに ／情報を読み取って文章を書こう／本は世界への扉／エルサルバドルの少女ヘスース／紛争地の看護師
	1 2 3	未来へ向かって	温かいスープ／わたしを束ねないで／三年間の歩みを振り返ろう

※進度によって予定が前後する可能性があります。

※社会情勢や学年実態などに合わせ題材を精選・追加し、学習していきます。

教科名 社会科	学年 3年	担当者 磯崎太朗 前田将 飯塚 秀樹	使用教材 帝国書院「中学生の歴史」 東京書籍「新しい公民」 創育・吉野教育図書「歴史 基本用語集」 浜島書店「学び考える歴史」
------------	----------	-----------------------------	---

教科の目指す生徒像

- ・歴史・公民の学習を通じて、社会に対して興味を持ち、学習することができる。
- ・自ら考え、疑問を持ち表現する事ができる。
- ・自らで問いを生み出し、その問いについて考えることができる。
- ・社会的事象について他社との交流をし、多面的多角的に考えることができる。

学習到達目標

- ・社会的な知識や技能を身に着けるとともに、社会的事象を理解することができる。
- ・原因や結果、内容などを仲間との意見交換なども含め多面的・多角的に理解し、社会的事象についての自分の考えを持ち、言葉で表現することができる。
- ・日々の学習の中で、さらに知りたい、学習を深めたいという気持ちのもと、自らを調整して継続的に学ぶことができる。

主な学習内容

- ・主にプリントを用いて、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」の育成を図る。

授業の進め方

- ・歴史・公民ともにプリントを用いた授業を行う。プリントは流れに沿って穴埋め形式になっている。また、単元ごとにまとめられたプリントを単元はじめの授業で配布し、まとまった内容を理解できるよう工夫する。
- ・生徒から問いを生み出させたり、教科書にないような問いを出すことで、自分自身で考える力を育みたい。
- ・クロームブックを用いて、資料を活用したり、自ら調べ学習する。
- ・仲間との話し合いや、意見を交流し多面的・多角的に考える。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象について、理解することができるか。	社会的事象に関して、「なぜ」を大切にし、考え、言葉で表現することができるか。	学習内容を分かりやすくまとめたり、さらに深く自ら調べたりしている。仲間との活動の中で、さらに学習を深めようとしている。
定期試験・小テスト	定期試験・小テスト・プリント 授業内での課題	単元シート・ファイル・授業内活動

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県 のやり方 に従う

課題・提出物等について

授業時内での課題や宿題がある。

長期休業中の課題について

夏休み、調べ学習を行う予定。

年間計画 2024（令和6）年度 第3学年 社会科

学期	月	単元名	主な学習活動
	4 5 6	二度の世界大戦と日本  現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族運動の高まりと国際協調の動き、世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。</li> <li>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦終結までの我が国の政治、外交の動き、アジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通して、軍部の台頭から戦争までの経過と大戦が及ぼした戦禍を理解する。</li> <li>・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。</li> </ul>
前期	7 8 9	現代社会と私たち  個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義を理解するとともに、民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考える。</li> </ul>
	10 11	現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治の基本的な考え方について理解する。国会を中心とする我が国の民主政治のしくみや政党の役割を理解し、議会制民主主義の意義について考えるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深める。</li> </ul>
後期	11 12	私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解するとともに、価格の働きに注目し、市場経済の基本的な考え方について理解する。現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解するとともに、社会における企業の役割と責任について考える。</li> </ul>
	1 2	地球社会と私たち  入試対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から国家間の相互の主権と尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識し、国際社会における我が国の役割を生活に結び付けて考える。</li> </ul>

教科名 数学	学年 3年	担当者 山田智昭・清水理紗 竹内義昭	使用教材 啓林館 「未来へひろがる数学3」 OKURA、バラプリント
-----------	----------	--------------------------	--

教科の目指す生徒像  
 数学的活動を通して、積極的に他者と関わり、数学的に考察し、問題解決をするための筋道を立て、表現することができる生徒。

学習到達目標  
 (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。  
 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。  
 (3) 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

主な学習内容  
 1章 式の展開と因数分解 2章 平方根 3章 二次方程式 4章 関数  $y=ax^2$  5章 図形と相似  
 6章 円の性質 7章 三平方の定理 8章 標本調査とデータの活用

授業の進め方  
 ・授業ではできるだけ教科書にそって進めていきます。教科書・ノート・ファイルは必ず持参してください。ファイルは授業の中で配布します。

観点別評価		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。</li> </ul>
定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）  
 A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県の方法に従う

◆定期テストの範囲について：これまでに行った学習の理解度をはかるため、万遍なく出題していきます。  
 ◆学習上の留意点：数学は積み重ねが重要となる教科です。毎授業の内容を、その日のうちに復習して次の授業に臨んでください。

【年間計画】

月	時数	学習主題と主な教材	内容・留意点
4	1 19	<b>ガイダンス</b> <b>1章 式の展開と因数分解</b> ①式の乗法、除法 ②乗法の公式 ③素因数分解 ④ <u>因数分解</u> ⑤式の計算の利用	学習のねらいと評価方法について確認する 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をできるようにする。 簡単な一次式の乗法の計算及び乗法公式を用いる簡単な式の展開や因数分解ができるようにする。
5	15	<b>2章 平方根</b> ①平方根 ②平方根の値 ③有理数と無理数 ④根号を含む式の乗法、除法 ⑤混合を含む式の計算	<u>式の展開や因数分解を利用して、数量の関係や図形の性質をとらえ説明できるようにする。道2-(5)</u>  数の平方根の必要性和意味を理解する。 数の平方根を含む簡単な式の計算ができるようにする。
6	13	⑥平方根の利用 <b>3章 二次方程式</b> ①二次方程式とその解き方 ②二次方程式の解の公式 ③二次方程式と因数分解	具体的な場面で数の平方根を用いて表したりし処理したりできるようにする。  二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解する。因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができるようにする。
7	15	④二次方程式の利用 <b>4章 関数 <math>y=ax^2</math></b> ①関数 $y=ax^2$ ②関数 $y=ax^2$ のグラフ ③関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域	2次方程式を具体的な場面で活用できるようにする。  事象の中には関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解する。
8 9		④関数 $y=ax^2$ の変化の割合 ⑤関数 $y=ax^2$ の利用 ⑥いろいろな関数	関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明することができるようにする。いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解する。
10	25	<b>5章 図形と相似</b> ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③相似条件と証明 ④平行線と線分の比 ⑤中点連結定理 ⑥相似な図形の面積 ⑦相似な立体の表面積・体積 ⑧相似の利用	平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解する。 <u>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができるようにする。道2-(5) 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができるようにする。</u> 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解する。
11	10	<b>6章 円の性質</b> ① <u>円周角と中心角</u> ②円周角の定理の逆 ③円の性質の利用	円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用できるようにする。
12	13	<b>7章 三平方の定理</b> ①三平方の定理 ② <u>平面図形への利用</u> ③ <u>空間図形への利用</u>	三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。 <u>三平方の定理を具体的な場面で活用できるようにする。</u>
1 2 3	6	<b>8章 標本調査とデータの活用</b> ①標本調査 ②標本調査の活用	標本調査の必要性和意味を理解する。 簡単な場合についての標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明できるようにする。

教科名 理科	学年 3 学年	担当者 高橋雅春 矢内るり子	使用教材 ・教科書 大日本図書「理科の世界 3」 ・副教材 明治図書「よくわかる理科の学習 3」 ・資料集 逗子市教育研究総合センター「逗子の自然」
-----------	------------	----------------------	---

#### 教科の目指す生徒像

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている生徒。
- ・観察、実験などを行い、理科の見方や考え方を働かせて結果を分析、解釈し、科学的に探究できる生徒。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする生徒。

#### 学習到達目標

- (1) 解決すべき課題や問題について、観察・実験を計画、実行し、結果の整理、考察を行う一連の探究過程の見通しを持ち学習を行うことができる。また、その観察や実験をするための基本的な技能を身につける。
- (2) 観察や実験によって得られた結果を理科の見方、考え方をもちて分析、解釈し、表やグラフ、図などを効果的に用いながら表現できるようにする。その際、他者の考えとの有の中で、自らの考えを調整できるようになる。
- (3) 日常生活や社会において科学がどのように役立っているかを感じたり考えたりできるようになる。これを生かし、日常生活における問題を見いだして、科学的に探究、解決する態度を身に付ける。

#### 主な学習内容

物理分野：運動とエネルギー

生物分野：生命のつながり、自然界のつながり

化学分野：化学変化とイオン

地学分野：地球と宇宙

総合：地球の明るい未来のために

#### 授業の進め方

自然の事物・現象に関する問題や課題を見だし、それを解決する観察や実験を立案、計画し、実践する。観察や実験を通して得られた結果を分析、解釈し、それをグラフや図などを利用してしながら他者へ表現する。この一連の科学的に探究過程を通して、自然の事物・現象について理解を深めていく。各単元の最後には、自らの学びを振り返り、学んだことを日常生活につなげたり、問題を見いだしたりする中で、次の学習へとつなげていく。

#### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

定期試験、単元テストや小テスト、課題レポート、授業プリント、発表等

#### 観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上    A 80%以上    B 50%以上    C° 25%以上    C 25%未満

評定への総括：神奈川県やり方に従う

#### 【教材について】

授業は、教科書の流れにそって進めます。教科書は、重要な情報源です。大切に使ってください。知識を確認するために問題集があります。授業中だけでなく、家庭での学習にも利用してください。

#### 【学習上の留意点】

各自が授業の「めあて」を意識して、自ら進んで学んでいくことが大切です。観察や実験では「なぜその観察、実験をするのか」という目的を意識して取り組んでください。

まわりの人と意見を交わしながら進めていくことが多くなります。他者との意見交流を通しながら、理解を深めてください。

理科の4つの分野には、学習内容の間につながりがあります。また、生活や学習で身に付けた知識を、学習する内容に関連付けて、新しい気づきにつなげてください。

年間計画 2024（令和6）年度 第3学年 教科：理科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4 5	○運動とエネルギー (1) 力の合成と分解 (2) 水中の物体に加わる力 (3) 物体の運動 (4) 仕事とエネルギー	物体の運動規則性、エネルギー種類と変換、保存の法則を学び、問題解決能力を養います。
	6 7	○生命のつながり (1) 生物の成長とふえ方 (2) 遺伝の規則性と遺伝子 (3) 生物の種類の多様性と進化	食物連鎖や分解者の働きなどを学び、遺伝子やDNAの研究が日常生活や社会で利用されることを理解し、生命を尊重する態度を育てます。
後期	9 10	○化学変化とイオン (1) 水溶液とイオン (2) 化学変化と電池 (3) 酸・アルカリとイオン	水溶液の電気伝導性、電解質と非電解質の違い、電気分解、化学電池の原理、酸・アルカリの性質と中和反応、イオンの生成と性質について学びます。
	11 12	○自然界のつながり (1) 生物どうしのつながり (2) 自然界を循環する物質	食物連鎖や生物の相互関係、分解者の役割と物質循環の重要性を理解します。生物間のバランスや自然環境の保全の大切さを学び、科学的思考力や問題解決能力を養います。
	1	○地球と宇宙 (1) 天体の動き (2) 月と惑星の運動 (3) 宇宙の中の地球	太陽系の構成、惑星の特徴、地球の自転と公転、季節の変化、月の満ち欠け、星座の観察などを通じて、宇宙に関する基本的な知識と理解を深めます。また、天体観察を通して科学的思考力を養います。
	2	○地球の明るい未来のために (1) 自然環境と人間 (2) 科学技術と人間 終章 これからの私たちの暮らし	自然環境と人間の関わり、自然環境の保全、自然災害、自然の恵み、科学技術の発展、そしてエネルギー資源の利用といったトピックを学びます。生態系のバランス、持続可能な社会の構築、科学技術の適切な利用といったテーマを通じて、科学的思考と環境に対する意識を育てます。また、生物相互の関係や自然界のつり合いについての理解を深め、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について考察する機会を提供します。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 音楽	学年 3年	担当者 松井ゆかり	使用教材 中学生の音楽2, 3年上・下 中学生の器楽、アルトリコーダー
-----------	----------	--------------	---

### 教科の目指す生徒像

音楽を楽しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることのできる生徒。音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現することのできる生徒。多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞することのできる生徒。

### 学習到達目標

1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
2. 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
3. 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

### 主な学習内容

- ・表現：歌唱〔二部合唱「花」など〕・器楽〔アルトリコーダー奏〕・創作
- ・鑑賞：オペラ「アイダ」、能・文楽など

### 授業の進め方

授業は50分間の中で歌唱・器楽・鑑賞を組み合わせて行います。さまざまな活動を通して表現する力や音楽への興味・関心を高めていきたいと思えます。個々の課題に合わせ、個人や小グループでの練習も取り入れ、互いに認め合い、励まし合って声や音が出しやすい雰囲気づくりも大切にしています。

### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
ワークシート 単元テスト、実技テスト	学びのプラン ワークシート 単元テスト、実技テスト	学びのプラン ワークシート 活動観察

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

- ◆単元テストの範囲について 定期テストとしては実施せず、単元テストを行います。  
2単元学習を目途に出題範囲を区切り、事前に通知します。
- ◆課題・提出物等について 曲を鑑賞した際や単元が終わったときにワークシートやレポートを提出します。  
期限を守り、求められた内容を満たすよう努力しましょう。
- ◆学習上の留意点 リコーダーのお手入れに、薄い布（ハンカチやガーゼ生地が適）を準備してください。リコーダーの管内部についた水滴を拭くためのものです。傷用のガーゼはほつれるのでお勧めできません。またティッシュもリコーダー内部に詰まるので使いません。毎回の授業で忘れ物がないようにしましょう。

年間計画 令和6年度 第3学年 教科：音楽

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	オリエンテーション 日本の歌「花」	音楽科の学習について見通しを持つ。
	5	オペラの魅力 「アイダ」	二部合唱で「花」を歌い、デュエットで表現を創意工夫しながら、よりよい表現方法を身に付ける。 総合芸術の中で果たす音楽の役割について考える。 歌唱やオーケストラによる表現の豊かさを聴き取る。
	6	創作 アルトリコーダー合奏	音列から音楽を作るためにリズムや音の並びを工夫し、オリジナルの作品を作り上げる。 アルトリコーダーによる合奏を行い、曲想に合った演奏をする。
	7 9	鑑賞「ボレロ」	楽曲全体の構成を理解して鑑賞する。オーケストラの各楽器の音色や強弱による表現の美しさを味わって聴く。
	10	伝統芸能 能・文楽	日本の伝統芸能の特徴を理解し、声の出し方や楽器の音色のよさや美しさを感じ取る。
後期	10	くらしの中の音楽	様々なジャンルや音楽史について学び、くらしの中で音楽が担っている役割について考える。
	12	ギター奏	ギターの基本的な演奏技術を身に付け、生涯にわたって音楽を楽しむ力を培う。
	1	卒業合唱	3年間の集大成として、混声合唱曲に取り組み、歌唱表現を創意工夫しながら合唱曲を完成させる。
	2		
	3		

※進捗や感染症の状況によって予定が前後する、または内容を変更する可能性があります。

教科名 美術科	学年 3	担当者 高井 明	使用教材 教科書 1、2・3 副教材：材料
------------	---------	-------------	--------------------------

#### 教科の目指す生徒像

- ・ 楽しく美術の活動に主体的に取り組み、他者の様々な表現を受け入れ発展させることができる生徒。
- ・ 生活や社会の中の美術や美術文化に興味・関心を持ち、積極的に関わっていく意欲のある生徒。

#### 学習到達目標

- (知)・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (思)・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (学)・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

#### 主な学習内容

和菓子づくり (立体・工芸)・アートグラス (平面)・篆刻 (彫刻・工芸)、表現活動の参考作品や生徒作品の鑑賞

#### 授業の進め方 (授業準備：準備は開始前に行い、忘れ物があるときは開始前に先生に相談する)

- ・ 初めに授業の「本時の目標」と「本時の内容」を確認し、自分の目標や計画を立ててから制作活動を開始します。
- ・ 制作活動中も、他者の良さを吸収し、創意工夫を重ねていきましょう。
- ・ 片付は終わり 10 分前に開始し、道具や制作途中作品を大切に扱い計画的に制作する習慣を身につけよう。

#### 観点別評価

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・ 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。</li> </ul>	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
アイデアスケッチ、作品、小テスト、定期試験	アイデアスケッチ、作品、鑑賞文、小テスト、定期試験	授業への取り組み、プリントや作品への取り組み、アイデアスケッチ、作品、鑑賞文

#### 観点別評価 総括基準 (沼間中学校の基準通り)

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

#### 評定への総括：神奈川県 のやり方 に従う

#### 定期試験について

- ・ 今年度は、一回のみ期試験は実施。その他題材ごとに必要に応じて、題材内容についての知識や自身の作品について記述する、小テスト等を実施します。

#### 課題・提出物等について

- ・ 内容の必要条件と、期限を守ることが大切です。(欠席者にはできるかぎり補習で対応。)
- ・ 定期的にファイル提出を行います。ファイルに配布プリントがきちんととじられており、記入もれがないことをチェックします。

#### 学習上の留意点

- ・ 身の回りにある美術的なものや作品に関心を持ち生活しよう。
- ・ 他者の作品や参考作品、助言を参考に創作活動しよう。

#### 教材について

- ・ ポスターカラー (絵の具)・資料集・ファイル・教科書・筆記用具・鉛筆 1 本 (HB~2B)

※その他、授業によって必要な道具はお知らせします。

## 年間計画 令和6年度 第3学年 美術科

学期	月	単元名	主な学習内容
前期	4	オリエンテーション	・年間の学習予定や次時の内容、授業のルール、評価の観点などの確認をする。
	4 ～ 6	和菓子づくり(立体・工芸)	・日本の伝統工芸や美術の特色に興味・関心を持ち、見方・感じ方を深める。 ・和菓子の文化に触れるとともに、独自の感性を働かせて、美しい和菓子のデザインを考え樹脂粘土で制作する。
	6 ～ 9	アートガラス(平面)	・構成美の要素8つについて学習し、デザインに取り入れ、効果的に美しく表現する。 ・アートガラスの素材を生かし、スクラッチ表現のよさや美しさに興味・関心を持ち、削り方や着彩を工夫し制作する。
	9 ～ 10	篆刻印面(工芸)	・篆刻の歴史と、文字のデザインを知る。 ・伝統的な文字デザインを参考に、自分独自の印面のデザインをする。 ・石の性質や篆刻道具の扱い方を理解し、適切な方法で石を彫る。
	10 ～ 11	篆刻印面(工芸)のつづき	
後期	11 ～ 3	篆刻持ち手(彫刻・工芸)	・立体的なイメージをもってデザインをし、石を計画的に彫刻する。 ・石の性質や篆刻道具の扱い方を理解し、適切な方法で石を彫る

※進度によって予定が前後する可能性があります。

。

教科名 保健体育	学年 3 学年	担当者 岩本 賢三	使用教材 東京書籍 新しい保健体育 東京書籍 ビジュアル
-------------	------------	--------------	------------------------------------

#### 教科の目指す生徒像

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ることのできる生徒。

#### 学習到達目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようになる。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

主な学習内容 ・体づくり運動 ・陸上競技 ・器械運動 ・サッカー&ハンドボール ・ダンス ・バスケットボール&バレーボール ・バドミントン ・ソフトテニス&ソフトボール

#### 授業の進め方

- ・適切な運動を行わせ、種目に合った体操・補強運動・ストレッチを班で考察・実行し、心身の調和的発達を図ります。
- ・挨拶後、班長は点呼をして担当教諭に報告する。
- ・授業はじめに説明する本日のねらいをよく聞き、仲間と協力しながら技能を高めていけるようにする。
- ・学習カードの振り返りを忘れずに書くようにする。

#### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特製に応じた基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に施行し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の運動の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
学習カード・ノート・技能試験・単元テスト	学習カード・ノート・単元テスト	学習カード・授業内の取り組み

#### 観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県 のやり方に従う

- ◆定期テストの範囲について：授業の進捗度を考慮し範囲を設定します。
  - ◆課題・提出物等について：定期試験後に学習ノートを集めて課題を見ます。また、授業後に学習カードを提出します。
  - ◆学習上の留意点：教科の特性上、グラウンド、体育館での活動が中心となります。服装など忘れ物がないようにしましょう。また、それぞれに記名をしっかりと行って下さい。
- 授業によって変わりますが、必要なものはあらかじめ連絡します。基本的に（ビジュアル<実技本>、学習カード、赤ファイル、筆記用具）は必ず持ってくるようにする。

2024 年間計画 (令和 6) 年度 第 3 学年 保健体育科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	新体力テスト 集団行動 体づくり運動 (ダンス含む)	○授業オリエンテーション (体) 体ほぐし(新体力テスト含む) や体力の意義と運動効果について勉強します。体育祭の練習と準備運動のダンスも行います。
	5	保健(3) 陸上競技 体育理論(2)	(保) 健康と環境 (陸) ハードル走・走り幅跳び・走り高跳びから種目を選択し、行い記録やフォームを見ます。 (体理) 現代生活におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割
	6	保健(3) バドミントン 体育理論(1)	(保) 健康と環境 (バドミントン) 基本の打ち方とゲームの運営の仕方を学びます。 (体理) 人々を結びつけるスポーツの文化的な働き
	7	保健(3) 水泳	(保) 健康な生活と病気の予防 (水) クロール・平泳ぎの泳法について基本的動作を確認し、フォーム、タイムを計測します。
	8 9	器械運動	(器) 鉄棒・跳び箱・平均台から種目を選択し、技の連続性や構成を見ます。
後期	10	陸上競技・長距離走 球技(選択) バスケットボール・バレーボール	(陸) 男子1500m・女子1000mと8分間走です。フォームチェック・タイム計測を行います。 (選) 自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうすること、課題に応じた運動の取り組みの工夫の方法を学びます。
	11 12	保健(3) 球技(選択) ハンドボール・サッカー	(保) 健康な生活と疾病の予防 (選) 自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうすること、課題に応じた運動の取り組みの工夫の方法を学びます。
	1	球技(選択) ソフトテニス・ソフトボール 保健(3)	(選) 自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうすること、課題に応じた運動の取り組みの工夫の方法を学びます。 (保) 健康な生活と疾病の予防
	2	球技(選択) 保健(3)	(選) 自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうすること、課題に応じた運動の取り組みの工夫の方法を学びます。 (保) 健康な生活と疾病の予防
	3	卓球・バドミントン	(選) 自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうすること、課題に応じた運動の取り組みの工夫の方法を学びます。

※保健・・・計18時間 体育理論3時間

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 技術・家庭科	学年 3 学年	担当者 嘉山 英明	使用教材 家庭科学習ノート 製作に必要な材料
---------------	------------	--------------	------------------------------

### 教科の目指す生徒像

一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と sh 会の成長につながる新たな価値を生み出していくことを目指していく。

### 学習到達目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通じて、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

### 主な学習内容

(指導計画参照)

### 授業の進め方

### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解</li> <li>情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みの理解</li> <li>情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みの理解</li> <li>安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能</li> <li>計測・制御システムの仕組みの理解</li> <li>安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能</li> <li>生活や社会に果たす役割や影響に基づいた情報の技術の概念の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術に込められた工夫を読み取る力</li> <li>情報の技術の見方・考え方の気づき</li> <li>情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力</li> <li>情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで情報の技術・生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造していかようとする態度</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働についての基礎的な理解</li> <li>家族関係、家庭生活と地域との関わりについての基礎的な理解</li> <li>幼児の発達と生活、幼児の遊びの意義についての基礎的な理解</li> <li>幼児や高齢者との関わり方についての基礎的な理解と技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭や地域における生活の中から家族</li> <li>家庭生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度</li> <li>家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度</li> <li>地域の人々と関わり、協働しようとする態度</li> </ul>

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。

※ 実験レポートなどは、観点別に採点します。

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

### ◆課題・提出物等について

なるべく授業内で完結するものにする。

### ◆夏期休業中の課題について

学習状況により判断する

### ◆学習上の留意点

けがをしない、させないような指導を徹底する

支援が必要な生徒には適宜声掛けをする

学期	月	技術分野	家庭分野
前	4	<b>B 生物育成の技術</b> (1) 生活や社会を支える生物育成の技術 ア 生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活
	5	イ 技術に込められた問題解決の工夫 (3) 社会の発展と生物育成 ア 生活や社会、環境との関わりを踏	ア 自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働
	6	まえた技術の概念 イ 技術の評価、選択と管理・運用、	(2) 幼児の生活と家族
	7	改良と応用	ア (ア) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割
	9	<b>D 情報の技術</b> (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決	(イ) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方
	10	ア 情報通信ネットワークの構成、安全に情報を利用するための仕組み、安全・適切な制作、動作の確認、デバッグ等	イ 幼児との関わり方の工夫 (3) 家族・家庭や地域との関わり
	11	イ 問題の発見と課題の設定、メディアを複合する方法などの構想と情報処理の手順の具体化、制作の過程や結果の評価、改善及び修正	ア (ア) 家族の協力と家族関係 (イ) 家庭生活と地域との関わり、高齢者との関わり方
後	12	<b>D 情報の技術</b> (3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決 ア 計測・制御システムの仕組み、安全・適切な制作、動作の確認、デバッグ等	イ 家族関係をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫
	1	イ 問題の発見と課題の設定、計測・制御システムの構想と情報処理の手順の具体化、制作の過程や結果の評価、改善及び修正	(4) 家族・家庭生活についての課題と実践
	2	(4) 社会の発展と情報の技術 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念	ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画、実践、評価
	3	イ 技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用	

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 <b>英語</b>	学年 <b>3年</b>	担当者 高橋 圭佑 原 真美・西脇 絵美	使用教材 教科書 NEW CROWN3 エイゴラボ③
------------------	-----------------	----------------------------	----------------------------------

教科の目指す生徒像

積極的に他者と関わり、お互いを尊重し認め合うことで、相互の成長につなげていくことができる生徒

学習到達目標

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成したりすることを目指す。
- ・聞くこと：日常的な話や会話を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。
  - ・話すこと：過去の出来事や自分の経験などについて、即興である程度会話を続けることができる。身近な話題について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、まとまりのある内容を発表することができる。
  - ・読むこと：簡単な英語で書かれたスピーチ原稿や記事を読んで、写真などを参考にしながら、その重要な情報を読み取ることができる。
  - ・書くこと：自分の考えや気持ちを整理して、まとまりのある紹介文を書くことができる。

主な学習内容

現在完了進行形、受動態、後置修飾（動詞の-ing形・過去分詞）、関係代名詞（主格 that, which, who、目的格 that, which）、仮定法、間接疑問文、help+A+動詞の原形、want+A+to…

授業の進め方

- ・授業の初めには、英語の歌の紹介とスラスラ Challenge（英会話練習）を行います。
- ・教科書や1・2年生の復習テストを歌とスラスラの代わりに授業の初めに取り組むこともあります。
- ・単元学習の最後には、まとめとして表現活動と、学習到達度を把握するための単元テストを行います。
- ・ノート作りやプリント類、エイゴラボは予習・復習として家庭で積極的に取り組みましょう。
- ・週に2～3回、IEA（国際教育指導助手）の先生と授業をし、生きた英語に触れ、使う機会をもちます。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	まなびのプランなどの提出物 各種表現活動 等

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県 のやり方に従う

◆授業を受ける上での心構え

- ・授業には、教科書、ノート（必要なら）、エイゴラボ3、ファイル、Chromebook が必要です。
- ・ペアワークやグループワークでは、ペアやグループの仲間と意欲的にコミュニケーションをとりながら取り組みましょう。
- ・気づいたことを質問したり、挙手して発言したりなど、間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- ・英単語や英文法はノートを用いて練習したり、プリントやエイゴラボを用いて復習したりなど、自ら学習を進め身に付けていきましょう。

◆長期休業中の課題について

- ・既習内容単語や文法の課題を出します。休み明けにテストを行います。

◆授業サポート

- ・学習相談はいつでもお受けします。授業の前後はもちろんのこと、補習対応もします。

年間指導計画 2024（令和6）年度 第3学年 英語科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	• Lesson1 Power of Music	現在完了進行形を理解し、使う
	5	Listen1 避難訓練のアナウンス Talk1 おすすめの場所は？ • Lesson2 Languages in India	世界の中学生に聞いてほしい歌を紹介する 聞き手が必要な情報を受け取る 質問する・情報を付け加える 受け身形を理解し、使う
	6	• Lesson2 Languages in India Listen2 旅行の行き先の相談 Talk2 どうしてそう思うの？ • Project1	受け身形を理解し、使う おすすめ日本語を紹介する 話し手が伝えたいことを聞き取る 理由や根拠を説明する・根拠を示して説明する 日本限定のアイスクリームを提案する
	7	• Lesson3 The Story of Sadako  Listen3 ボイスメッセージ Talk3 野球と言えば GET Plus1 それを聞いてうれしいです	後置修飾（動詞のing形・過去分詞）を理解し、使う おすすめの本を紹介する 聞き手が必要な情報を聞き取る 話題を変える・確かめる be glad to～を理解し、使う
	9	• Lesson4 The World's Manga and Anime  Listen4 ラジオニュース Talk4 道順を教えてくださいませんか • READING FOR FUN1	関係代名詞（主格）を理解し、使う ボランティアの自己PRカードを書く 話の全体的な内容を聞き取る 道順をたずねる・交通経路をたずねる 物語を読む
後期	10	• Lesson5 I Have a Dream  Listen5 Talk5 • Project2	関係代名詞（目的格）を理解し、使う 招待状を書く、街頭インタビューにこたえる 話し手が伝えたいことを聞き取る 食事を勧める・承諾する・断る 国際交流イベントで町や地域の文化を紹介する
	11	• Lesson6 Imagine to Act  Listen6 Talk6 GET Plus2 もし私があなたなら	仮定法を理解し、使う 英語の詩を書く 話し手が伝えたいことを聞き取る 議論を進める・議論に参加する アドバイスをする
	12	• Lesson7 For Our Future  GET Plus3 教室の飾りつけをしてもらいたいです	間接疑問、help+A+動詞の原形を理解し、使う 20歳の自分にビデオメッセージを作る want+A+to...を理解し、使う
	1	• Project3 入試対策	ディスカッションをする
	2	• READING FOR FUN2,3 入試対策	

※進度によって予定が前後する可能性があります。